

<自己紹介>

ICU 副師長 特定看護師 角田めぐみ

2022 年3月に看護師特定行為研修を修了し、2年間の卒後研修(診療科)で臨床を学び、現在は救急災害医療センターICU に在籍しています！！



＜特定看護師とは？＞

2015 年に厚生労働省が施行した「特定行為に係る看護師の研修制度」に基づいて、高度な専門知識と判断力を持ち、病態の変化や疾患、患者の背景等を包括的にアセスメント・判断し、看護を基盤に、特定行為も含めた質の高い医療・看護を効率的に提供します。

＜特定行為とは？＞

要件を定められた研修を修了した看護師が、手順書に基づいて包括的に実施することができる医行為のことで
す。(21 区分 38 行為)

特定行為及び特定行為区分(38行為21区分)			
特定行為区分	特定行為	特定行為区分	特定行為
呼吸器(気道確保に係るもの)	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	創傷管理関連	焼(い)傷(も)又は化学的創傷の治療における1次傷損組織の除去
	気道の閉鎖解除の決定の変更	創部ドレーン管理関連	創部に対する閉鎖圧管理療法
呼吸器(人工呼吸装置に係るもの)	人工呼吸器の閉鎖圧異常の決定の変更		
	人工呼吸器の異常の発生に対する患者の観察態様の投与量の調整	創部血流ガス分析関連	直接創部酸素測定による採血
	人工呼吸器からの離脱		創部酸素サチュレーションの測定
呼吸器(長期呼吸療法による)	呼吸器チューブの交換	送気管理関連	気道内気管チューブの交換
	一時換気システムの操作及び管理	送気回路及び水分管理に係るもの	持続経鼻的経気管カニューレの投与量の調整
	一時換気システムの操作及び管理	投与関連	投与量に対する投与値と正常
	経皮式人工肺補助装置の操作及び管理	投与量・投与薬剤と関連	投与量・投与薬剤に対する薬剤の投与量の調整
循環器関連	大動脈内バルーンポンプがけの観察及び注	血管カテーテルに係る薬剤投与	インスリンの投与量の調整
	心臓の循環の調整		
心臓ドレーン管理関連	心臓ドレーンの投与	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
	低圧胸腔内持続吸引管路の吸引圧の決定及び設定の変更		
胸腔ドレーン管理関連	胸腔ドレーンの投与	持続経気管中のカテーテルの投与量の調整	
	胸腔ドレーンの投与(胸腔内に留置された穿刺針の抜去を含む。)	持続経気管中のサブドーム、カラム又はクールの投与量の調整	
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの投与	留置関連に係る薬剤投与と連	持続経気管の閉鎖圧の投与量の調整
			持続経気管中の糖質投与又は電解質投与量の投与量の調整
うろ管理関連	腎うろカテーテル又は腸うろカテーテル又は腎うろカテーテルの交換	持続経気管中の利尿剤の投与量の調整	
	腎うろカテーテルの交換	精神及び神経症状に係るもの	投与経路病態の投与投与
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)	中心静脈カテーテルの投与	投与不安の投与の投与	
栄養に係るカテーテル管理(末梢静脈置中心静脈注射カテーテル)	末梢静脈置中心静脈注射カテーテルの挿入	皮膚関連に係る薬剤投与と連	投与剤その他の薬剤が血管内に漏出したと認められた際の薬剤の投与投与量の調整

厚生労働省 平成27年10月1日現在



＜特定看護師を選んだ理由＞

臨床推論や判断力ができるようになりたい！

学んだ知識や看護実践を踏まえながら、患者さんに最善のケアを提供したい！と思い、特定行為研修を受講しました！！

＜ICU での活動＞

- ・ クリティカル領域で、臨床推論や看護的視点を活かして看護実践や現場指導
- ・ 患者のそばにいる看護師としての気づきを最適な治療やケアに繋げられるよう、診療科医師と相談し、呼吸器設定の変更や動脈採血などの特定行為を実践

＜部署横断的な活動＞

- ・ 診療看護師/特定看護師による PICC チームに所属
- ・ CCOT 活動:救急外来看護師とともに院内急変予防
- ・ PICS 活動:ICU 退室患者の合併症予防、ADL 早期回復など継続的なケア支援

